



9月の健康だより

令和3年9月1日
梶ヶ谷保育園

新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐためには、マスクの着用、手指衛生、人との距離の確保、換気等の予防対策の徹底が重要です。特にマスクなどの活用が推奨されています。効果の高いマスクを正しく着用する方法をお知らせします。

保育園では感染予防対策として日頃よりマスクの着用をお願いしています。
◎2歳未満児には着用は適さないとの見解です。(日本小児科医会)

保健行事のお知らせ
9/1(水) 園医健診
0,1,4,5歳クラス

データから見るマスクの効果 新型コロナウイルスに関する情報



マスクの役割 吐き出し

咳・くしゃみなどの症状がある人はもちろん、症状が出なくても周囲の人に感染を拡大する可能性があるため、これによる飛沫の飛散を防ぐためにマスクを積極的に着用することが推奨されます。



マスクの役割 吸い込み

マスクによって、環境中のウイルスを含んだ飛沫はある程度は捕捉されます。また机、ドアノブ、スイッチなどに付着したウイルスが手を介して口や鼻に直接接触することを防ぐことから、ある程度は接触感染を減らすことが期待されます。

マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マスクシールド
		不織布	布	ウレタン		
吐き出し飛沫量	100%	20%	18~34%	50%	80%	90%
吸い込み飛沫量	100%	30%	55~65%	60~70%	小さな飛沫に対しては効果なし	

国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release より作成

正しく使おうマスク!



①鼻の形に合わせ ②あご下まで伸ばし顔にすき間をふさぐ **すき間なくフィットさせる**

会話時は必ず着用!

- ・鼻出しマスク× あごマスク× **ポイント**
- ・着けたら外側は触らない
- ・ひもを持って着脱
- ・品質の確かな、できれば不織布を

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策 HP より

ワクチン接種者と未接種者の違い

ワクチン接種者

- ・感染リスク低
- ・重症化リスク低



排出されるウイルス量は同等!

ワクチン未接種者

- ・感染リスク高
- ・重症化リスク高



ワクチン接種後もマスクの着用を!

新型コロナウイルスは変異が多く、デルタ株といわれる変異ウイルスが主流になっています。デルタ株は従来のものより感染力が強いとされていますが、新型コロナワクチンの有効性は他のワクチンと比べて非常に高く、デルタ株であっても感染するリスクを大きく減らすことができます。ワクチン接種が進んでいる高齢者については、6月以降の感染割合が大幅に減少しています。

ワクチン接種完了後に感染する率は低く、万一感染しても無症状や軽症で済むことが多いものの、排出されるウイルス量は接種の有無に関わらず同等との報告もあります。換気の悪い場所や密な場所では、マスクの着用をお願いいたします。

※参照資料 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所より